

東部教育事務所社教便り『社窓』

安芸市矢ノ丸1-4-36 東部教育事務所

TEL: 0887-34-3591 (百々)

FAX: 0887-34-3592 (大谷)

E-mail: 310304@ken.pref.kochi.lg.jp



NO. 22

(平成25年5月)

「安芸都市連合婦人会総会及び研修会報告」

風薫る新緑の中、安芸都市連合婦人会総会及び研修会が、室戸市の保健福祉センターやすらぎ（きらきら広場）にて開催されました。安芸都市連合婦人会は、安芸郡市内婦人会の連絡連携を図るとともに、社会の変化に対応できる婦人会活動の推進と婦人の地位向上を図ることを基本方針として、日々活動しています。今年度最初の会も、昨年同様多数の会員が参加しました。

<日 程>

10:00～ 開会行事 挨拶：長戸寿子（安芸都市連合婦人会長）

祝辞：小松幹侍（室戸市長）

寺尾敦子（高知県連合婦人会長）

10:30～ 総 会 ①平成24年度事業・決算報告、監査報告

②平成25年度事業案・予算案

③役員改選

11:40～ 昼食及び休憩

12:45～ 講演 演 題：「室戸ジオパーク推進の取組」

講 師：和田庫治（室戸市ジオパーク推進課長）

14:00～ 閉会行事 挨拶：井上眞喜子（安芸都市連合婦人会副会長）



午前中は、開会行事に引き続き総会が行われ、平成24年度事業・決算・監査報告の承認と平成25年度事業案と予算案が承認されました。また、役員改選については、平成25・26年度の会長として廣末純子さん（奈半利町）、副会長は山下福恵さん（室戸市）と長戸寿子さん（安田町）、会計は西田早苗さん（東洋町）、会計監査は大寺萬世子さん（北川村）と井上眞喜子さん（安芸市）、事務局は大谷晃弘（東部教育事務所）が承認されました。

午後からは、「室戸ジオパーク推進の取組」と題して、室戸市ジオパーク推進課長の和田庫治さんの講演が行われました。講演では、まずジオパークの定義や、世界遺産と世界ジオパークの違いなどについての話がありました。室戸ジオパークは、海底プレートが動いている証拠が陸上で見られる貴重な地域で、世界ジオパークとして全国に5カ所（他は糸魚川、洞爺湖有珠山、島原半島、山陰海岸）ある内の一つとなっています。世界ジオパークは、ユネスコの支援を受けて2004年に設立された世界ジオパークネットワークが認定するものですが、今年



秋にはユネスコの正式プログラムになるかもしれない？そうです。しかし、4年に一度の再審査（世界遺産は1回の認定で再審査なし）がありますので、室戸市をあげて更新に向けての取組を推進しているところだそうです。この取組の母体となる室戸市ジオパーク推進協議会は、行政や民間の47団体が加入しており、「地域がこれからも元気でいられる町づくり」をめざし、保護活動や教育・啓発活動、ネットワーク活動、推進事業等を行っています。

ネットワーク活動の説明の中で、平成24年度に室戸市で行われた第3回日本ジオパーク全国大会における室戸市連合婦人会の活躍についての話がありました。会議のお弁当や体育館で行われた交流会での料理や接待などの「おもてなし」が参加者に大好評だったそうです。婦人会は地域の人々との信頼関係が厚く、料理や運営への細やかな配慮や、ネットワーク力と実行力などが、大会を成功に導く力になったということでした。

講演の終わりに、「東部地域には、厳しい経済状況と少子高齢化、南海トラフ巨大地震への備えなど大きな課題があるが、地域が生き生きするためには、『女性の視点』が必要」というご示唆もいただき、今後の婦人会活動の励みとなりました。

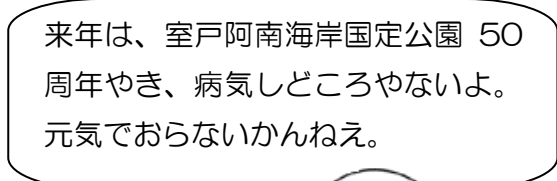


<温かいお品書きが添えられたお弁当>

<参加者からの声>



今日は、ジオパークのことを改めて知ったよ。やっぱり今は「おもてなしの心」やねえ。こじゃんとおもてなししちゃうよ。



来年は、室戸阿南海岸国定公園 50周年やき、病気しどころやないよ。元気でおらないかんねえ。



全国大会の成功は、婦人会の力だけやのうて、JA土佐あきさんや地元の漁協さんらあが、新鮮な地元産の食材を提供してくれたことも大きかったがよ。これからも、地域の人とのつながりを大切にせないかんねえ。



<ご当地丼も提供しました>



<婦人会が作った高知名物「皿鉢料理」は、何と137枚！>



<体育館での交流会風景>